

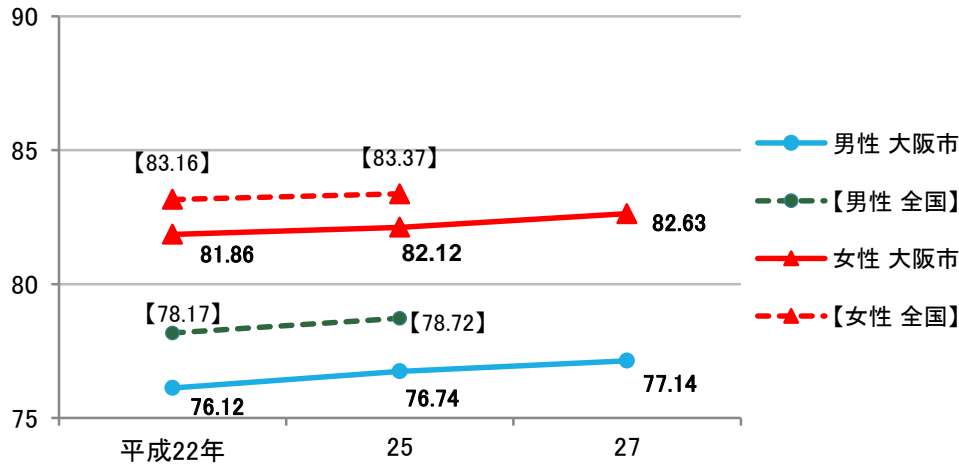
# 大阪市の現状と取組み状況

---

大阪市 健康局  
福祉局

# 大阪市の現状

## 健康寿命の年次推移(年)(大阪市・全国)

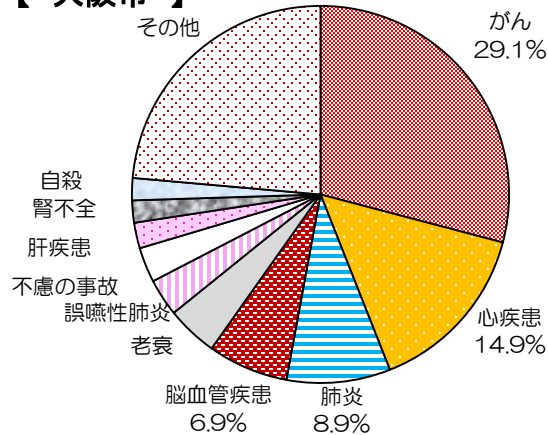


※国の平成27年のデータは未発表

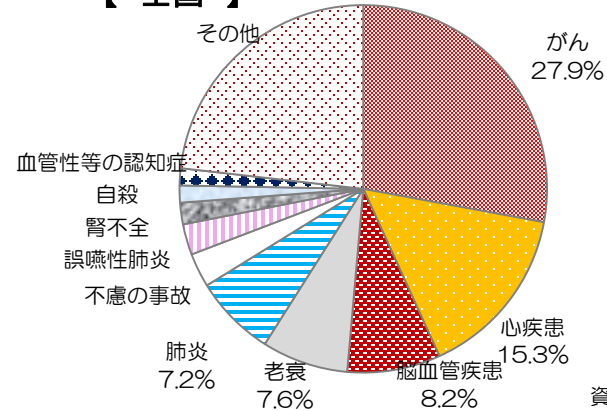
<大阪市> 厚生労働科学 健康寿命研究による「健康寿命算定プログラム」で算定  
使用データ 人口:各年の10月1日現在の総人口  
年齢階級別介護保険被保険者数・認定者数:各年9月末現在  
<国> 厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)分担研究報告書  
健康寿命の指標に関する研究-健康日本21(第二次)等の健康寿命の検討-

## 死因別死亡割合(大阪市・全国)

### 【大阪市】



### 【全国】



資料:平成29年 人口動態統計

全国と同様に生活習慣病(がん・心疾患・脳血管疾患)による死亡が死因の約5割を占めている。

# 大阪市におけるデータの活用

大阪市民(273万人)

【その他保険】  
(協会けんぽ、各健康保険組合、共済組合等)

165万人(60.4%)  
H31.3末

【国保】  
63万人(23.2%)  
H31.3末

うち健診受診 約9.2万人  
国保40歳以上の23.1%

【生保】  
13万人  
(4.7%)  
H31.4.1

【後期高齢者  
医療】  
32万人  
(11.7%)  
H31.3末

レセプトデータ

健診データ

レセプトデータ

健診データ

- ・重複・頻回受診対策  
約2,400件/年
- ・ジェネリック差額通知  
約105,000件/年

糖尿病性腎症  
重症化予防  
対象約540人

- ・高血圧・糖尿病
- ・腎機能低下者  
重症化予防(※)  
対象約4,000人

各区の保健師による  
指導等を実施

委託事業

レセプトデータ(0歳~74歳)・・・約1,000万件/年

健診データ(40歳~74歳)・・・約9.2万件/年

(※) 高血圧・糖尿病、腎機能を重点としている理由

市国保の医療費全体に占める割合を疾病別に見ると、  
糖尿病・慢性腎不全(透析)・高血圧症が上位を占めて  
いるため。(約4割が生活習慣病)

# 事業内容

## ● 高血圧・糖尿病 重症化予防(各区保健師)

- ・内臓脂肪型肥満の有無および服薬の有無問わず
- ・収縮期血圧180mmHg以上または拡張期血圧110mmHg以上
- ・HbA1c7.4以上または空腹時血糖250mg/dl以上  
(H27.7～訪問等による保健指導・受診勧奨)

## ● 腎機能低下者 重症化予防(各区保健師)

- ・服薬なし者のうちeGFR60未満かつ尿蛋白＋以上  
(H25.7～訪問等による保健指導・受診勧奨)

## ● 糖尿病性腎症 重症化予防(国保 委託実施)

- ・HbA1c6.5以上かつ尿蛋白＋以上 または eGFR15以上60未満 (H27.8～)
- ・空腹時血糖126mg/dl以上かつ尿蛋白＋以上 または eGFR15以上60未満 (H30.8～)  
受診勧奨案内送付、電話による受診勧奨、希望者への6か月保健指導

## ● 重複・頻回受診者健康教育啓発事業(国保 委託実施)

- ・重複受診者・頻回受診者へのリーフレット送付(年2回)さらに、重複服薬者・多剤服薬者へ服薬情報の送付(年1回)
- ・保健師、薬剤師による電話・訪問による教育指導

## ● 後発医薬品(ジェネリック医薬品)差額通知(国保 委託実施)

- ・先発医薬品を使用している対象者への後発医薬品への切り替え差額(自己負担額300円以上の方)を通知(年3回)

# 大阪市における個人の生活習慣改善を目的とした保健師活動

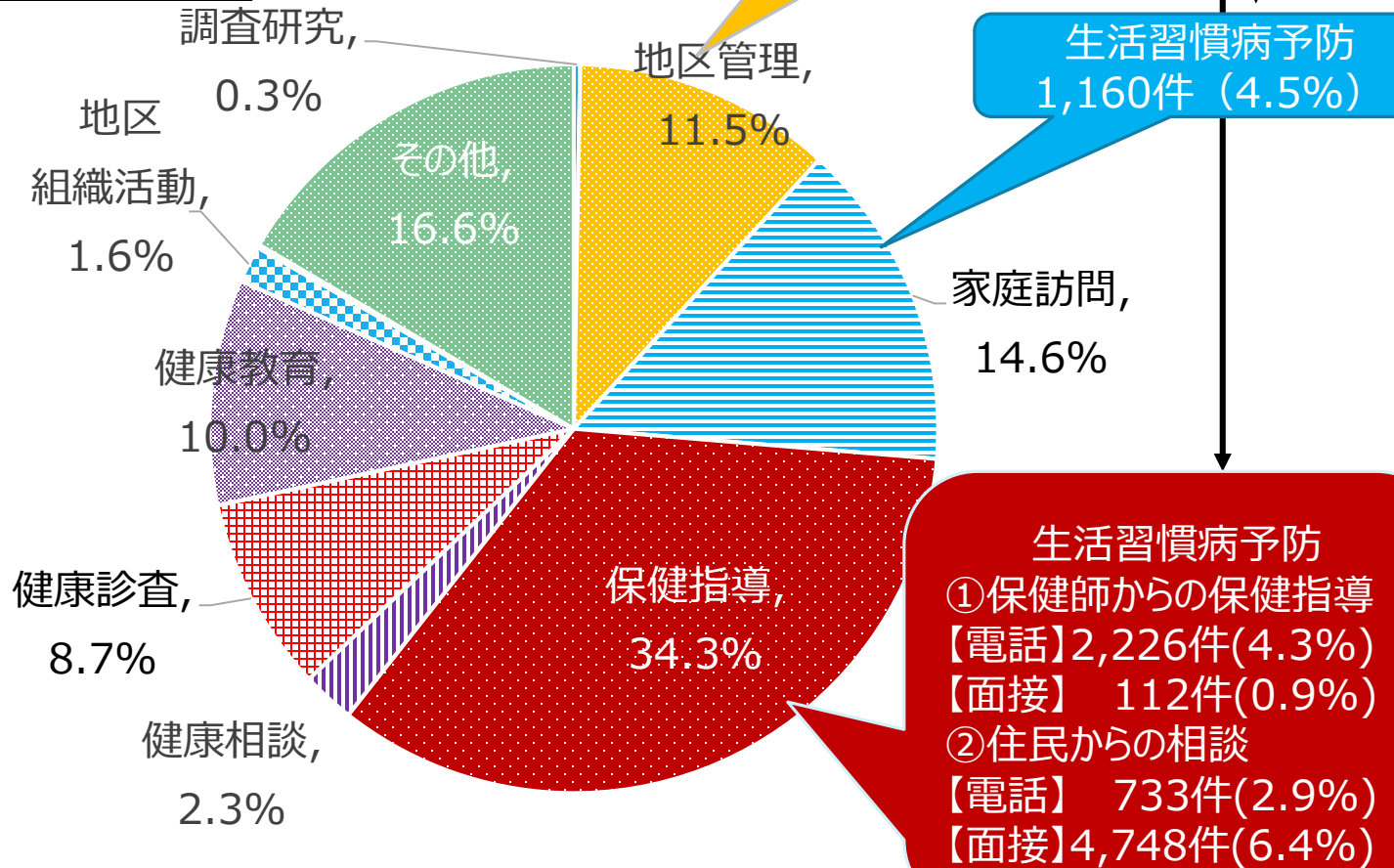
大阪市保健師総数：374名

24区役所：292名

保健：237名  
(63.4%)

本庁  
保健  
所等

福祉



1年間の区役所保健分野に所属する保健師の活動実績(H30年度)

# 各区における取組例

年齢調整死亡率 (平成28年) (人口10万対)	悪性新生物		心疾患		脳血管疾患	
	男	女	男	女	男	女
<b>K区</b>	<b>191.1</b>	<b>111.9</b>	<b>71.4</b>	<b>36.7</b>	<b>30.7</b>	<b>20.8</b>
大阪市	187.5	94.3	73.1	33.7	36.9	17.5
国	160.9	86.1	64.3	33.2	36.4	20.0

## まちかど健康キャンペーン

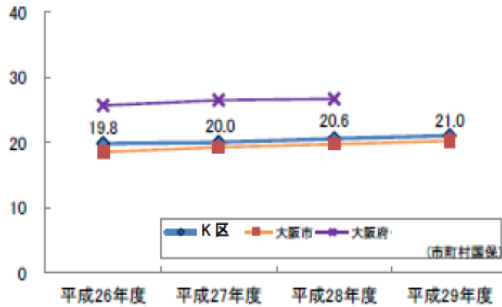
特定健診受診率の向上と生活習慣病予防・健康意識の向上を目的として、平成27年度に区内5か所のスーパーで血管年齢測定を実施し、449名の参加があった。計測者のうち25.4%が子育て世代・壮年期であった。



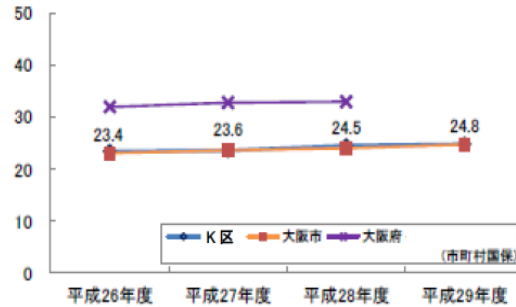
H27年度と比較し、H29年度の特定健診受診率は男性で1.0ポイント、女性で1.2ポイント上昇

特定健診の結果高血圧の割合が高いまち

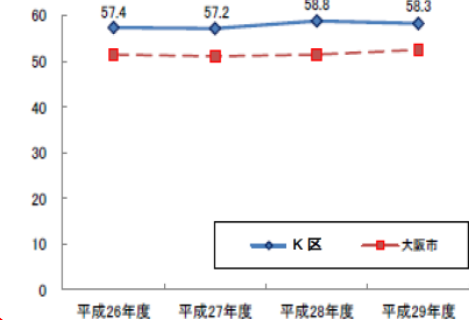
(%) 特定健診受診率の年次推移(K区 男)



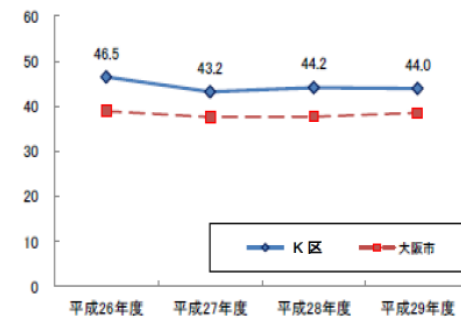
(%) 特定健診受診率の年次推移(K区 女)



(%) 年齢調整 高血圧症有病者割合の年次推移(K区 男)

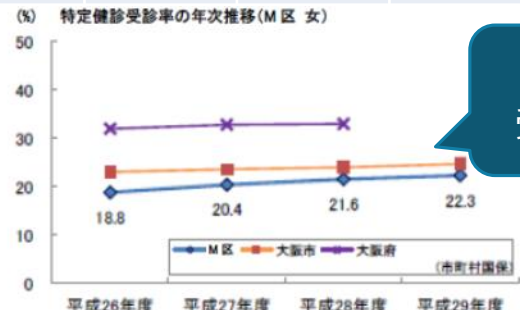
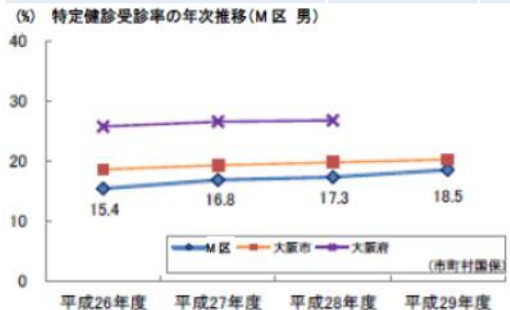


(%) 年齢調整 高血圧症有病者割合の年次推移(K区 女)

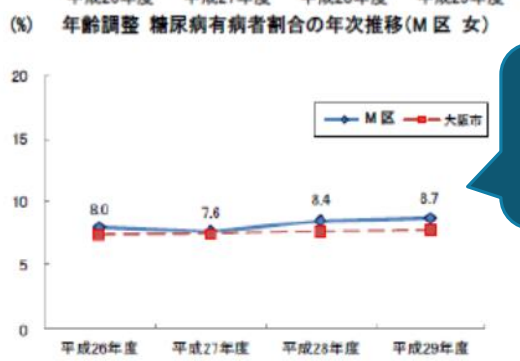
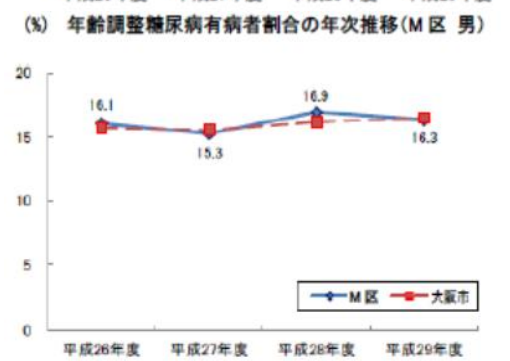


# 各区における取組例

年齢調整死亡率 (平成28年) (人口10万対)	悪性新生物		心疾患		脳血管疾患	
	男	女	男	女	男	女
<b>M区</b>	<b>206.3</b>	<b>95.3</b>	<b>76.3</b>	<b>38.0</b>	<b>39.9</b>	<b>24.1</b>
大阪市	187.5	94.3	73.1	33.7	36.9	17.5
国	160.9	86.1	64.3	33.2	36.4	20.0



特定健診の  
受診率が低い



特定健診の  
結果糖尿病  
の割合がわず  
かに高い

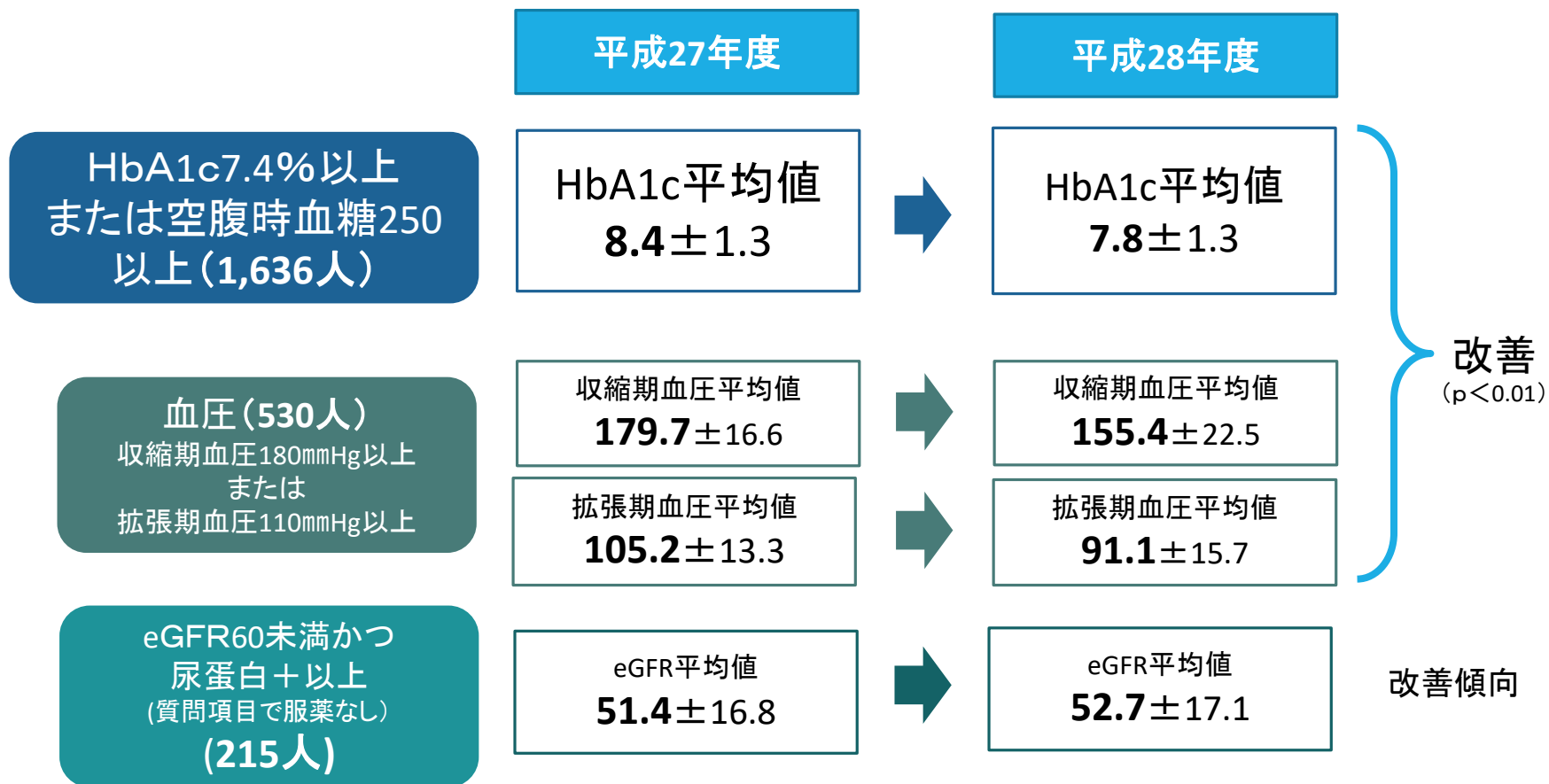
## 健康づくり月間の設定

平成26年度から、健康づくり月間中に公的機関だけでなく、各種団体、企業等からも健康づくりのきっかけになる取り組みを募集。M区の地域診断結果・健康課題を協力団体や企業に説明。  
平成29年度25団体・企業の協力あり。参加者数は2,216人で初年度より1.5倍に増加。

取り組み当初のH26年度と比較し、H29年度の特定健診受診率は男性で3.1ポイント、女性で3.5ポイント上昇

# 高血圧・糖尿病・腎機能低下の重症化予防取組の評価

平成27年度の受診勧奨対象者で翌年も特定健康診査を受けた方の健診結果比較



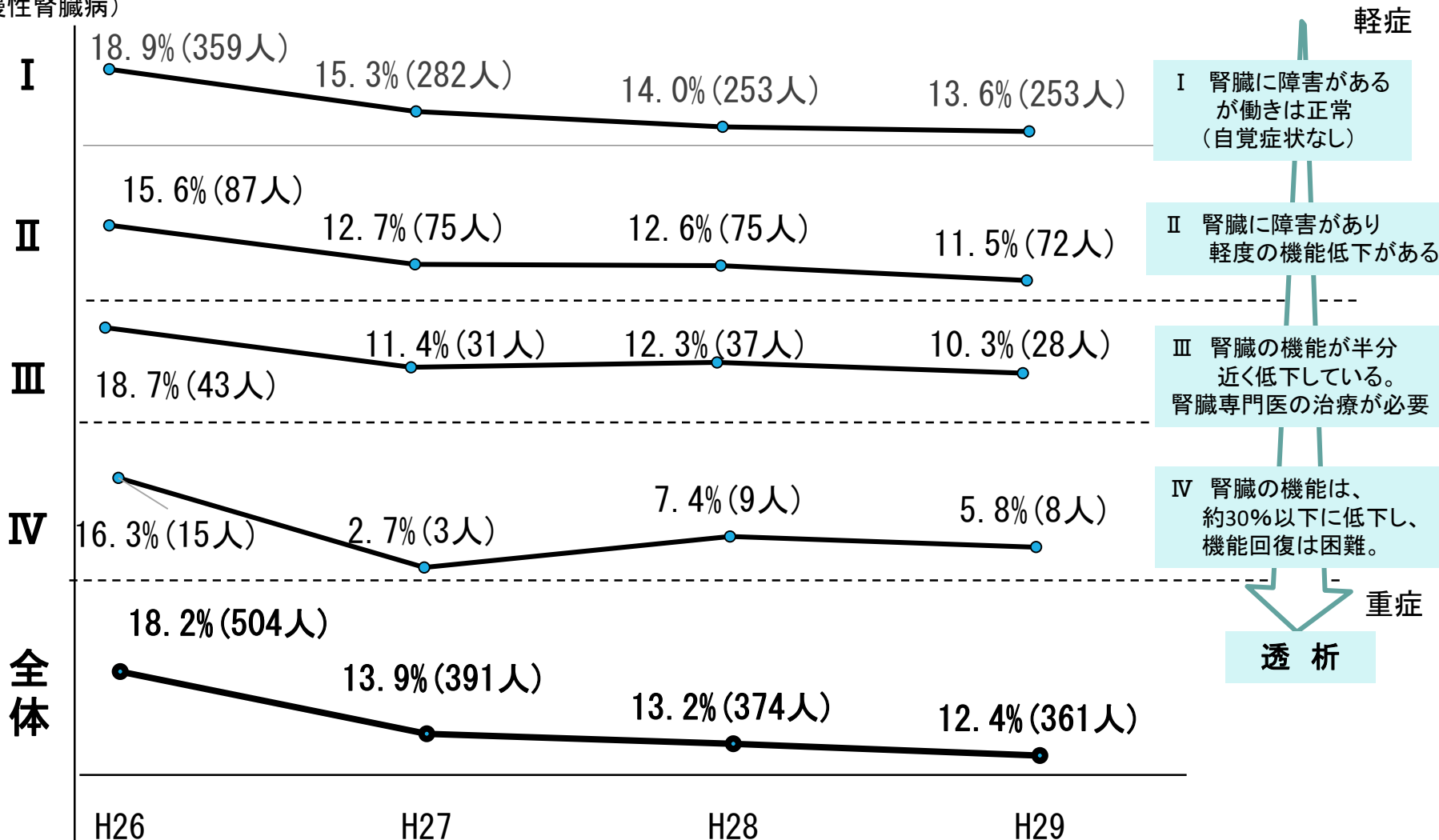
検査数値は「検査値の平均±標準偏差」



# 糖尿病性腎症重症化予防事業の評価

CKD分類  
(慢性腎臓病)

健診受診者のうち、HbA1c7.4%以上の方の、糖尿病未治療割合



- ・ H27の事業開始後ばらつきはあるものの未治療率は減少傾向となっている。
- ・ 特にIV期の未治療率が低下している。

## ● 重複・頻回受診者健康教育啓発事業(国保)

レセプト情報により服薬(受診)状況等を確認し、改善状況を検証

平成30年度モデル事業(平野区) 実績

◇指導を行った56%(9人中5人)に改善傾向がみられ、

月額医療費が約3万円の減少 ⇒ 医療費総額 約200万円の削減見込

⇒ 令和元年度より  
全区展開

## ● 後発医薬品(ジェネリック医薬品)差額通知(国保)

レセプト情報により送付後の効果額・使用割合を検証

平成29年度 実績

◇送付数 : 約97,000件

◇効果額 : 約2億9千万円  
(対象者が先発医薬品から後発医薬品に切り替えた差額)

◇使用割合 : 67.7%(平成30年3月審査分)